

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表	令和 6 年度
-------------------------	---------

法人名	社会福祉法人 憲章会	代表者	理事長 石島 衛	法人・ 事業所 の特徴	当法人は役員・職員の資質向上のための研修等の実施をしています。南城市からの委託事業「高齢者一時保護事業」「食の自立支援」「生活管理指導員派遣事業」や「夜間・休日相談事業」の受託をしています。小規模多機能事業所では、公文学習療法を導入し認知機能低下防止や個々の生きがいを支援しています。また、利用者自身の「～したい」想いを尊重し、地域の行事や交流ができるよう考えていきます。コロナ禍前の実績として、生まれ育った地への訪問「ふるさと訪問 in 石垣島・宮古島・久米島・台湾」を年 1 回実施していました。
事業所名	東雲の丘小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	管理者 平田いづみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	4 人	1 人	1 人	1 人	0 人	10 人	0 人	19 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	日々の働き（気付き）を大切に、更に運営推進会議（資料含む）が充実できるように努める。	・常勤スタッフ全員が前向きに取り組んでいる。 ・外部との交流に取り組もうとしている姿勢は評価できると思います。	・ミーティングを増やして欲しい ・情報共有は大切なので今後も続けて欲しい。	日々のミーティングを実施していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	清潔を保つ為、また感染症予防の為、物品の整理や居室清掃を行っていく。	・出来なかった点を反省点として取り上げ、次回に活かせようとする姿が見えていいと思う。	・室内含め敷地内は、いつも綺麗だと感じる。 ・玄関に作品や活動内容がわかる掲示があり良い感じ です。	担当を決め玄関先・玄関の清掃を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	これまで同様広報誌を作成し、運営推進会議での提供や家族さんへ配布すると同時に SNS の活用を行っていく。	・「小規模だより」以外の情報がわからない。 ・地域の方への挨拶もしっかりできていると伺える事もあり、何かあれば相談しやすい事業所と思います。	・事業の中身がまだ知られていない点もあると思うので、民生員としても、もっと周知できるようにしたい。 ・小規模事業所のサービス内容を多くの方に周知していく工夫が必要だと思います。	事業所を知って貰う為に、引き続き広報誌の作成、配布を行いながら、SNS の活用を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域交流ができるよう民生員さんへ依頼を行う。また、「ゆいハート地域づくり事業」へ相談員として参加していく。	・積極的に参加していると思う。 ・民生員さんとの交流からご利用者さんだけでなく、地域の方の情報交換も行われ、地域交流の幅を広げていこうとする姿勢を感じます。	・自己評価の状況が思わしくないので改善した方がよいのでは。 ・ミニデイサービスへの再開が出来なかったようなので、今回はできるようにして貰いたい。	「ゆいハート地域づくり事業」への参加を行う。 ミニデイサービスへの参加を行う。

E. 運営推進会議を活かした取り組み	会議の中で地域の取り組みを確認し、一緒に計画や参加を行っていく。	・委員からの意見が多くて大変だと思うが、取りまとめて活かして欲しい。 ・参加者からの意見やアイデアが活発に出され、会議の内容が以前よりも充実していると思う。	・色々な方が参加されており、事例やヒヤリなど悩みを出し、意見を出し合いながら会議を進めていた。 ・会議では時間をかけ丁寧に説明している。	運営推進会議で出た意見や内容を全職員へミーティングにて伝えていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	BCP 計画（事業継続計画）の資料を提供し共有を行っていく。	・防災訓練も行っていた。 ・防災訓練を近隣事業所と合同で行っていることは有意義だと思います。	・今後も様々な事態を想定して計画を立てて欲しい。 ・非常時の連携方法を現場職員もわかっていると動きやすいのではないのでしょうか。	火災想定、防災災害時の想定を明確化し訓練を行う。また、机上訓練等も同時に行う。